情報提供

報道関係者各位

2026年 11月 19日
株式会社オトバンク

20～30 代の約 4 割が「自己成長につながる福利厚生」を選択。40～60 代を 16.3 ポイント上回る

【会社員 500 人に聞いた福利厚生に関する調査】

若い世代では、生活支援に加え、知識・スキルの習得やキャリア形成につながる福利厚生にも関心

社員の自律学習を促進するオーディオブック聴き放題プラン「audiobook.jp 法人版」を提供する株式会社オトバンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也、以下「オトバンク」）は、全国の 20～69 歳の会社員（正社員）500 名を対象に、職場の福利厚生に関する意識調査を実施しました。



■調査背景：福利厚生に、社員の自己成長を後押しする役割も期待

近年、企業における福利厚生は、住宅・家賃補助や食事補助などの経済的支援に加え、健康支援、働き方、育児・介護など、その内容が多様化しています。

こうした福利厚生には、日々の生活を支えるだけでなく、社員一人ひとりの知識やスキルの習得、キャリア形成など、自身の成長を後押しする役割も期待されているのではないでしょうか。

そこで今回、全国の 20～69 歳の会社員（正社員）500 名を対象に、職場の福利厚生に関する意識調査を実施しました。

【調査ハイライト】

- 現在の勤務先の福利厚生に「不満」と回答した会社員は 43.4%。
- 自分自身の生活や将来を豊かにする福利厚生として「知識・スキルの習得やキャリア形成につながるもの」を選んだ 20～30 代は 41.0%。40～60 代（24.7%）を 16.3 ポイント上回る。
- 今後充実させてほしい福利厚生として「自己研鑽・学習支援」を挙げた 20～30 代は 26.0%。40～60 代（17.7%）より 8.3 ポイント高い。
- 福利厚生としての読書・学習機会について、会社員の 67.0%が利用意向を示す。

■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社オトバンク　広報担当　佐伯・篠田

東京都文京区本郷 3-4-6　御茶ノ水エビヌマビル 8 階

TEL：070-8813-4436（篠田） FAX：03-5805-2917　Email：pr@otobank.co.jp

情報提供

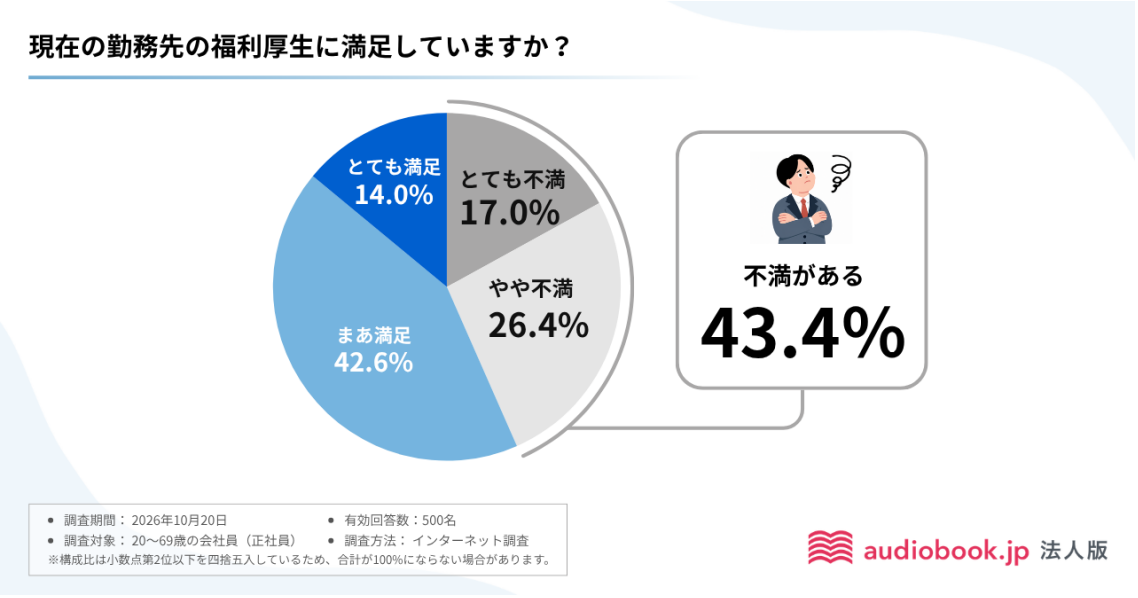
報道関係者各位

OTOBANK

2026年 11月 19日
株式会社オトバンク

■4 割以上の会社員が現在の勤務先の福利厚生に不満

現在の勤務先の福利厚生に対する満足度を聞いたところ、「やや不満」（26.4%）、「とても不満」（17.0%）を合わせ、43.4%が不満を抱えていることがわかりました。

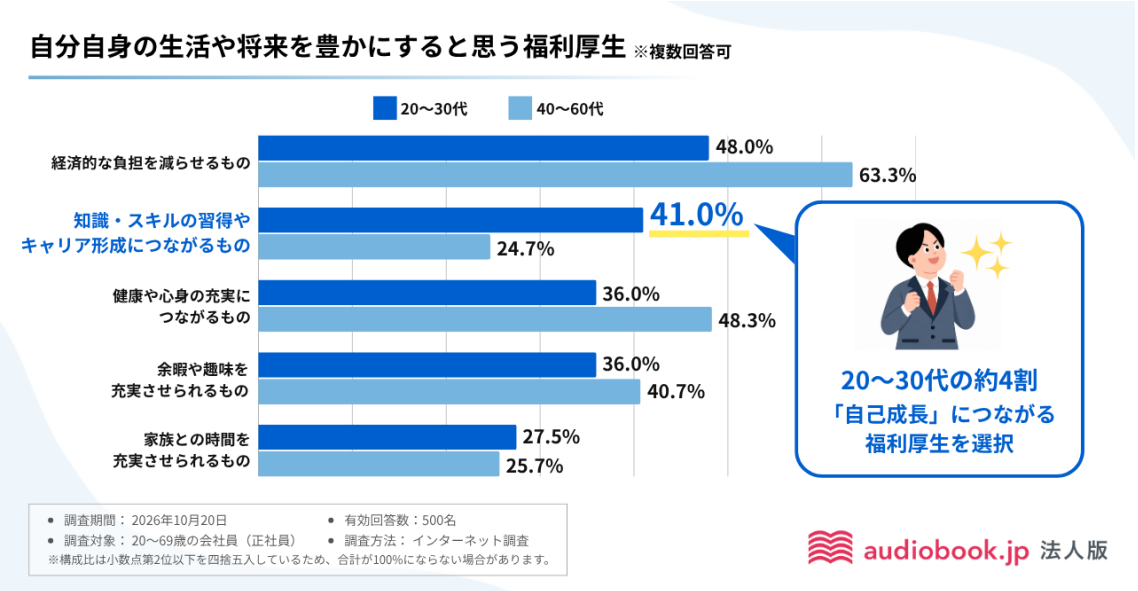


■20～30 代の約 4 割が、自己成長やキャリア形成につながる福利厚生を重視

「あなたにとって、『自分自身の生活や将来をより豊かにする』と感じる福利厚生は、どのようなものですか？」と尋ねたところ、「経済的な負担を減らせるもの」が 20～30 代で 48.0%、40～60 代で 63.3%と最多回答になりました。

一方、2 番目に回答が多かった選択肢は、20～30 代と 40～60 代とで異なり、20～30 代では「知識・スキルの習得やキャリア形成につながるもの」と回答した人が 41.0%、40～60 代では「健康や心身の充実につながるもの」と回答した人が 48.3%という結果でした。

20～30 代にとって、自身の成長やキャリア形成につながる機会も、生活や将来を豊かにする福利厚生の一つとして重視されていることが分かります。同項目を選択した 40～60 代は 24.7%で、20～30 代との差は 16.3 ポイントとなりました。この結果から、特に 20～30 代では、生活を支える福利厚生に加え、自身の知識やスキルを高め、将来の可能性を広げる機会も求められていることがうかがえます。



■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社オトバンク　広報担当　佐伯・篠田

東京都文京区本郷 3-4-6　御茶ノ水エビヌマビル 8 階

TEL：070-8813-4436（篠田） FAX：03-5805-2917　Email：pr@otobank.co.jp

情報提供

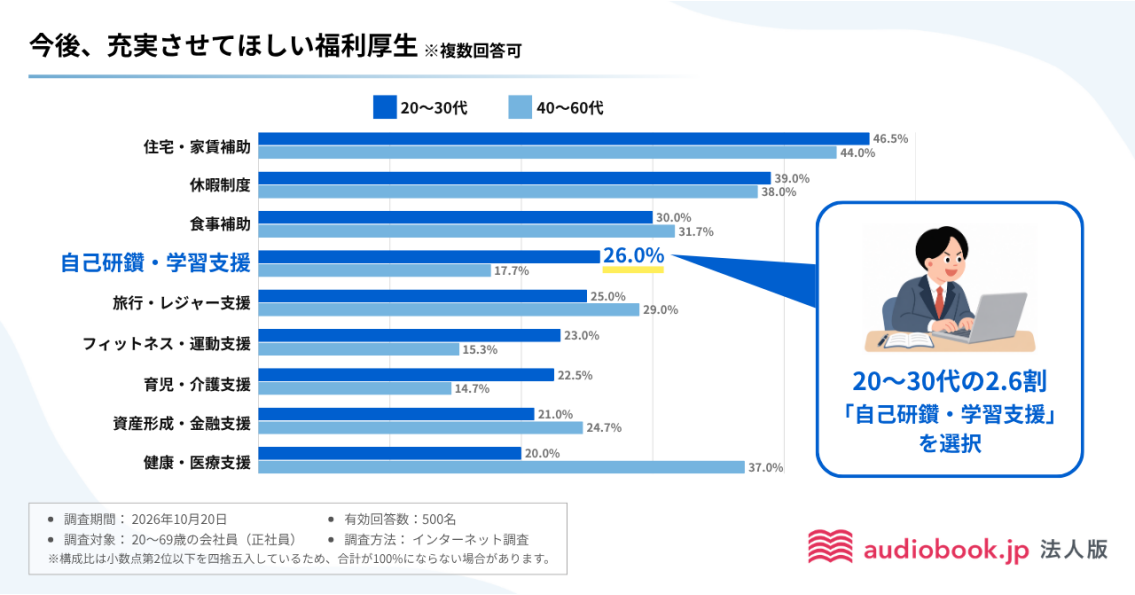
報道関係者各位

OTOBANK

2026年 11月 19日
株式会社オトバンク

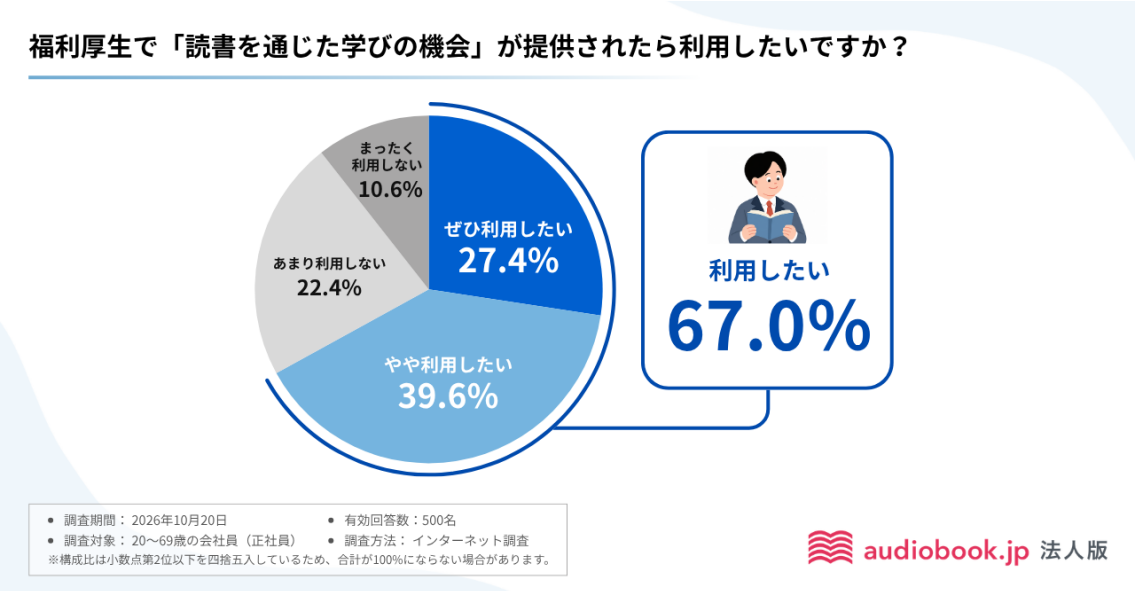
■今後充実させてほしい福利厚生でも、20～30 代は「自己研鑽・学習支援」を重視

「今後、勤務先に充実させてほしい福利厚生はどのような福利厚生ですか？」という質問でも、20～30 代の 26.0%が「自己研鑽・学習支援」を選択しました。
40～60 代では 17.7%となり、20～30 代が 8.3 ポイント上回っています。
20～30 代では「住宅・家賃補助」（46.5%）や「休暇制度」（39.0%）などの生活支援に関する項目が上位となる一方、「自己研鑽・学習支援」も 4 人に 1 人以上が求めていることが分かりました。
この結果から、福利厚生には、生活上の負担を軽減するだけでなく、社員一人ひとりの学びや成長を後押しする役割も期待されていると考えられます。



■会社員の約 7 割が、福利厚生としての読書・学習機会に利用意向

「福利厚生の一環として『読書を通じた学びの機会』が提供されたら、利用してみたいと思いますか？」と尋ねたところ、「ぜひ利用してみたい」が 27.4%、「どちらかといえば利用してみたい」が 39.6%となり、合計 67.0%が利用意向を示しました。
この結果から、書籍や読書を通じて知識・教養を身につける機会は、福利厚生として多くの会社員に受け入れられる可能性があることがうかがえます。



■ 本件に対するお問い合わせ

株式会社オトバンク　広報担当　佐伯・篠田
東京都文京区本郷 3-4-6　御茶ノ水エビヌマビル 8 階
TEL：070-8813-4436（篠田） FAX：03-5805-2917　Email：pr@otobank.co.jp

情報提供

報道関係者各位

2026年 11月 19日
株式会社オトバンク

■株式会社オトバンク 創業者・上田渉のコメント



今回の調査から、福利厚生には、住宅補助や休暇制度など日々の生活を支える役割に加え、社員一人ひとりの成長や将来の可能性を広げる役割も期待されていることがうかがえます。特に 20～30 代では、知識やスキルの習得、キャリア形成につながる福利厚生への関心が高く、会社が社員の成長を後押しすることの重要性が表れていると感じます。
社員が自ら学び、成長していくためには、学ぶ機会を提供するだけでなく、日常の中で無理なく学び続けられる環境を整えることも大切です。オーディオブックは、通勤や家事などの時間を活用しながら、さまざまな知識や考え方に触れられる手段です。
オトバンクは今後も、オーディオブックを通じて、社員が自分のペースで学び、成長できる環境づくりを支援してまいります。

【アンケート調査概要】
調査期間： 2026 年 10 月 20 日
調査対象： 20～69 歳の会社員（正社員）
有効回答数： 500 名
調査方法： インターネットによるアンケート調査（Freeasy を利用）

▼本調査に関するホワイトペーパーはこちらからダウンロードいただけます。
https://business.audiobook.jp/download/file_08

【本件に関するご取材・お問い合わせ】
取材・掲載のご相談は下記までお気軽にご連絡ください。
・株式会社オトバンク 広報室　メール：　pr@otobank.co.jp
・その他お問い合わせはこちらまで：　https://www.otobank.co.jp/contact/

■オーディオブックとは



オーディオブックとは、ナレーターや声優が本を朗読した「聴く本」です。耳だけで読書を楽しめるため、文字を読むのが難しい方のほか、ランニング中、電車や車での移動時間、家事の最中など、生活のあらゆるシーンで「ながら読書」を楽しめます。
近年、スマートフォンやワイヤレスイヤホンの普及で音声コンテンツの利用環境が急速に整ったことや、定額で様々な作品が聴き放題となるサブスクリプションプラン導入などを背景にオーディオブックの利用者が急増。現在、オーディオブックは、紙、電子書籍に続く、第 3 の書籍として広がりつつあります。
【参考】オーディオブック制作の様子からおすすめ作品までわかる！「まるわかり！オーディオブック」
https://bit.ly/3Xg8mFJ

■audiobook.jp 法人版

audiobook.jp 法人版

audiobook.jp 法人版は、ビジネス書や自己啓発書を中心に 15,000 点以上のタイトルを好きなだけ聴ける法人向けのオーディオブック聴き放題プランです。通勤中や家事中、就寝前など、耳のスキマ時間に音声を再生するだけで読書ができるため、自律学習のハードルがぐっと下がります。人材教育や、学びにも楽しみにも使える新しい福利厚生として活用いただいています。

■ 本件に対するお問い合わせ
株式会社オトバンク　広報担当　佐伯・篠田
東京都文京区本郷 3-4-6　御茶ノ水エビヌマビル 8 階
TEL：070-8813-4436（篠田） FAX：03-5805-2917　Email：pr@otobank.co.jp

情報提供

報道関係者各位

2026年 11月 19日
株式会社オトバンク

【audiobook.jp 法人版に関するお問い合わせ】
お問い合わせフォーム [https://business.audiobook.jp/cta_contact]
「audiobook.jp 法人版」特設サイト [https://business.audiobook.jp/]

■株式会社オトバンク（本社：東京都文京区、代表取締役社長：久保田裕也）

「聞き入る文化の創造」を掲げ、2004 年に創業した音声プラットフォーム企業です。日本最大級のオーディオブック配信サービス「audiobook.jp」を運営し、数万点に及ぶオーディオブックの制作・配信を展開しています。創業の原点は、創業者・上田の祖父が緑内障を患った経験から、耳でも読書が楽しめる世の中にしたいと考えたことにあります。現在は、企業のブランド価値を高めるポッドキャストの企画・制作や、人材育成を支援する法人向け音声サービスなども展開。読書バリアフリーの推進や「耳活」という新たなライフスタイル提案を通じて、音声が生み出す豊かな社会の実現を目指しています。https://www.otobank.co.jp/

■ 本件に対するお問い合わせ
株式会社オトバンク　広報担当　佐伯・篠田
東京都文京区本郷 3-4-6　御茶ノ水エビヌマビル 8 階
TEL：070-8813-4436（篠田） FAX：03-5805-2917　Email：pr@otobank.co.jp